

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～嘉島町立嘉島中学校での実践～



【上益城教育事務所】

【講座のテーマ】

親（保護者・大人）としてモラルやマナーについて考えてみよう



活動② アイスブレイク



活動④ メイン活動2



活動⑤ グループ協議



活動⑥ まとめ

【講座の日程等】

日にち：令和4年11月8日（火）

場 所：嘉島町立嘉島中学校

日 程：5校時（13:55～14:45）

対 象：嘉島中学校 第1学年2組（1学級）31名

進行役：上益城教育事務所 社会教育主事 金子 正誓

【講座の説明】

これから大人になる中学生が、自転車の安全な乗り方などの道路交通法について考えることを通して、モラルやマナーについて考えるきっかけとし、社会の一員として行動しようとする心情を高めるねらいをもってプログラムを実施した。

【プログラムの実際】

- ① 「親の学び」次世代編の説明
 - ・「くまもと家庭教育支援条例」の説明を含む。
- ② アイスブレイク
 - （交通マナーを意識するためのサイコロトーク）
 - ・進行を円滑にするため、トーク内容にプログラムに係る参加者の実態や考えを含める。
- ③ メイン活動1
 - （自転車の乗り方について考える Yes・No クイズ）
 - ・事前にモラルやマナーの意味を確認する。
 - ・今まで曖昧であった道路交通法について知る。
- ④ メイン活動2
 - （親の立場で自他のモラル意識を見つめるワーク）
 - ・具体的な状況を例示して、自分自身を振り返る。
- ⑤ グループ協議
 - （大事にしているモラルやマナーについての話し合い）
 - ・自転車運転の取り締まり強化に関する報道記事を紹介し、自分事として考える機会とする。
- ⑥ まとめ
 - （ワークシートに振り返りを記入する。）
 - ・命を大切にすること、自分だけは大丈夫と考えないことを伝えたいうえで、将来どんな大人になっていたいかと問いかける。

【実践校の感想】

（生徒）モラルやマナーについて自分を見つめ直すことができた。大人になったとき子供のお手本になるようにしたい。

（生徒）取り締まりがあるということは、社会でマナーが守られていないことが分かった。自分から守りたい。

（教師）生徒と一緒に日頃を振り返るよい機会となった。この後、各学級担任により第1学年全学級でこのプログラムを実施したい。